

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ若林
2 指定管理者	せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ
3 指定期間	平成29年10月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 9,611人（前年度比 112.3%） 内訳 ひろば利用者：8,898人、託児利用者：713人 ※視察等の利用者：231人 令和2年度 8,558人 令和元年度 29,009人 <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 24,864千円 (24,939千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 1,554千円 (1,371千円) その他収入 18千円 (21千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見箱の設置 イベント参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<ul style="list-style-type: none"> 協定書に示す関係法令および条例等を遵守し、また、職員が条例に規定する施設の設置目的を理解し、施設の運営を行っている。 利用者アンケートの満足度が総じて高く、子育てを総合的に支援し、安心して子育てができるまちの実現に大きく貢献している。 	21/21
II 施設の運営管理体制	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルの整備のほか、関係機関と合同訓練を実施し役割分担を明確にするなど、事故や災害発生時にも迅速に対応できる体制が整備されている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取り組みがなされている。 	29/29
III 施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解したうえで、遊具等が破損していないか、利用者が快適に利用できるかなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。 施設利用者および職員のごみの持ち帰りを徹底するなど、環境へ配慮した取り組みも行っている。 	19/19
IV サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や意見箱の設置により、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。 地域の掲示版や町内会の回覧板でイベントの告知を行うなど、積極的な広報を展開している。 	28/28
V 施設固有の基準	<ul style="list-style-type: none"> 子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供（ひろば事業）や一時預かり事業、子育てに関する情報収集・提供事業などを適切に実施している。 	9/9

三 評価総括

《指定管理者（せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ）による自己評価》
<p>施設運営について、感染予防対策の徹底と衛生的な環境の維持、設備・遊具等の定期点検など、安心して安全な運営管理に努めた。職員は乳幼児親子に丁寧に寄り添い、コロナ禍においても安心して過ごせる親子の居場所・交流の場を提供し、利用者から満足度について高く評価された。</p> <p>プレパパママ・新米パパママ向けの事業や、区の両親教室参加者の施設見学の受け入れを行うなど、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援に取り組んだ。</p> <p>施設に隣接しているふるさと広場を活用し、外遊びの楽しさを伝えるためのイベントを週3回開催。初めての方でも参加しやすく、リピーターも増えており、地域の方々との交流の場にもなっている。町内会の協力を得て、木ノ下公園でも定期的に外遊びのイベントを開催した。今後も地域の中に交流の場を提供し、施設を周知する機会も増やしていきたい。</p> <p>一時預かりは、感染予防対策と安全管理に十分配慮して行った。子どもの成長を共に見守ってくれているという安心感から職員に子育ての相談をする親もあり、信頼して利用していただいていると感じる。</p> <p>若林区家庭健康課と子育て支援専門相談事業での情報共有など、スムーズに連携できる関係性を築いている。保健師・栄養士等による個別相談も実施、親子と家庭健康課を結ぶ機会の提供を行った。南小泉児童館や市民センターとの共催事業を継続的に実施するなど、地域の子育て支援機関等と信頼関係を深め連携しながら、子育て家庭の支援に努めている。</p> <p>事業全般に於いて職員間での情報共有や話し合いを積極的に行っており、今後も継続的な業務改善に取り組み円滑な施設運営に努めていく。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、施設に隣接しているふるさと広場（若林区役所南側の公園）を活用し、外遊びの楽しさを伝えるためのイベントを日常的に（週3日）取り入れているほか、地域の町内会と連携し、木ノ下公園でも定期的に（月1回）開催するなど、外遊びのイベントに積極的に取り組んでいる。地域の中に交流の場を設けることで、地域の方々との交流を深めることにもつながっている。</p> <p>相談事業では、相談員（のびすく子育てコーディネーター）と区の家庭健康課がスムーズに連携できる関係を構築し、コロナ禍において孤立感が高まっている子育て家庭の支援に努めている。また、利用者との会話がきっかけで相談に発展するケースが多いことを踏まえ、利用者との信頼関係の構築を大切にすることを心掛けている。</p> <p>さらに、若林区の新たな子育て支援のネットワーク構築に向けて準備委員会を立ち上げ、地域の支援団体や支援者とともに、令和4年度から「子育てサポネットわか隊」の活動をスタートする。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館時は、地域の子育て環境を知ることや活動の場を広げることを目的に、区内の巡回活動や公園のリサーチを行い、再開後の木ノ下公園での外遊びイベントの実施につなげた。区や産院の両親教室が中止になり、初めての出産や子育てに不安を抱えるプレパパ・ママがのびすくのイベントに参加するようになったことを受け、両親の気持ちに寄り添った支援に努めた。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課